

登録コード	UAA38500	開講年度	2026			
授業題目	比較文学実践演習				担当教員	野津 寛
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・6時限	
				授業形態	演習	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。	
(2)授業の概要	上記目標達成のため、授業形式は、教員による解説・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとして 古代ギリシア・ローマ抒情詩及びフランスの近代詩人アルチュール・ランボーの『イリュミナシオン』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料解読の実践を課す。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス（授業のねらいと概要を解説し、授業の進め方について説明を行う） 第2回：文学の一ジャンルとしての詩について（解説） 第3回：文学の一ジャンルとしての詩について（課題発表） 第4回：古代ギリシア・ローマの抒情詩と『イリュミナシオン』にかかわる資料収集に関する問題（解説） 第5回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』にかかわる資料収集に関する問題（課題発表） 第6回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の校訂に関する問題（解説） 第7回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の校訂に関する問題（課題発表） 第8回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の解釈に関する問題：詩法を中心に（解説） 第7回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の解釈に関する問題：詩法を中心に（課題発表） 第8回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の研究史に関する問題（解説） 第9回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の研究史に関する問題（課題発表） 第10回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の間テキスト性に関する問題（解説） 第11回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の間テキスト性に関する問題（課題発表） 第12回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の翻訳に関する問題（解説） 第13回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の翻訳に関する問題（課題発表） 第14回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の読者に関する問題（解説） 第15回：古代ギリシア・ローマ抒情詩と『イリュミナシオン』の読者に関する問題（課題発表） 期末試験の有無 期末試験は行わず、詩の研究の方法に関するレポートを課す。					
(4)成績評価の方法	各課題発表で行うプレゼンテーションとディスカッション（50％）と学期末のレポート（50％）で評価を出す。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89 - 80% 優、79 - 70% 良、69 - 60% 可、59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準	（１）詩の研究の基本的なテーマ・着眼点に関する方法を一つ一つ説明することができ、（２）複数の方法を有機的に結びつけて体系化したレポートを作成することができ、（３）授業中に紹介した文献資料を幅広く調査・収集し、正確に分析することができ、（４）ディスカッションを通して問を深めたり、新たな課題を発見することができ、さらに（１）から（４）までに加えて、ケーススタディのために取り上げた作品以外の作品にも研究の発展的な方法を応用する力を身につけていれば「卓越している」。（１）から（４）までの項目をすべて満たしていれば「かなり上にある」。（１）から（３）までの項目をすべて満たしていれば「やや上にある」。（１）と（２）の項目を満たしていれば「合格水準にある」と評価される。					
(6)事前事後学習の内容	事前学習としては課題発表の準備（ハンドアウトの作成を含む）が、事後学習としては授業中に指示した資料、文献の調査・収集・分析が求められる。					
(7)履修上の注意	この授業では「教科書」欄と「参考文献」欄に挙げた文献を読解する語学力が必要とされる。					
(8)質問、相談への対応	授業中に質問を受けつける時間を十分に設けるとともに、オフィスアワーまたはアポイントメントによる面談で受講生からの質問に対応する。					
【教科書】	David A. Campbell, Greek Lyric Poetry (BCP Greek Texts), Bristol Classical Press, 1991. Niall Rudd (ed.), Horace, Odes and Epodes (Loeb Classical Library), 2004. Felix Budelmann, Greek Lyric: A Selection (Cambridge Greek and Latin Classics), Cambridge University Press, 2018. Rimbaud, Oeuvres, preface, notices et notes par Jean-Luc Steinmetz, Flammarion, coll. GF, tome II (Illuminations, Correspondance 1873-1891), 1989. 他					
【参考書】	Ian Rutherford (ed.) Oxford Readings in Greek Lyric Poetry (Oxford Readings in Classical Studies), Oxford University Press 2019. R. G. M. Nisbet & alii (ed.), A Commentary on Horace Odes (in 3 volumes), 1989-2007, Oxford					

【参考書】	University Press. Andre Guyaux, Poetique du fragment, essai sur les Illuminations de Rimbaud, Neuchatel, A la Baconniere, coll. Langages, 1985. Pierre Brunel, Claude Pichois, Andre-Michel Rousseau, Qu ' est-ce que la litterature comparee ?, Armand Colin, 2e ed., 2000. 他
-------	---